

「先生は神社へ行くとき、どのような心境で行きますか？」

平成 29 年 3 月 7 日

●シンシン ソウシツさんからの質問

こんにちは、西田さん。僕は時々神社へ行きます。若いので悩み事が尽きず、それゆえ神社へこころを清めに参拝しに行きます。西田さんも神社へ行くときどのような心境で行きますか？又、行く神社へはどのようにして決められるのですか？

●西田昌司の答え

私は東京にいる時は毎朝、靖国神社に参拝しています。参拝して、軽く運動をしてから朝 8 時過ぎには国会に行っています。靖国神社には国のために戦って命を落とされた方々の御霊みたまが祀られていますし、私が靖国神社で手を合わせる時はそういった英霊に対して「安らかにお眠りください」「この国を御守りください」「皆様に恥じぬ生き方ができるよう、私たちをご教導ください」と心の中で唱えています。

「苦しいときの神頼み」と言われるように、私たちは神社に行くとき何かお願い事をするのが普通です。商売繁盛のご利益が掲げられていたりするものですが、靖国神社はそういったお願い事をする所ではなく、英霊の御霊に感謝を申し上げる所ですし、そういう意味ではお墓とよく似ています。

ところで、お参りしてお願い事をしたらそれが叶うかといえば、そんなことはありません。お参りするのは、自分の心を落ち着かせるためだと思いますし、そうやって心を清めた後は、願いが叶うように自分で努力するほかありません。逆に邪よこしまな心でお願い事をすれば、スター・ウォーズで言うところの暗黒面（ダークサイド）に堕ちてしまってとんでもないことになってしま

います。

神社にお参りする意味は、そういった邪な心を取り除くことにあるような気がします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>